2026 年 11 月 12 日

ニュースリリース
報道関係各位

入江工研株式会社

第 48 回 VACUUM2026 真空展に出展

宇宙開発にも活用が期待される無酸素 Pd/Ti 蒸着非蒸発型ゲッターポンプ

「NEGLAZE®（ネグレーズ®）」を展示

半導体製造装置・高速鉄道等に活用されるベローズ*1の開発・販売を手掛ける入江工研株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長入江則裕以下、当社）は、11 月 18 日（水）から 11 月 20 日（金）に開催される「VACUUM2026 真空展」に出展致します。
当社は２０年以上に渡って出展しており、今回は 2025 年 11 月 1 日より、本格販売を開始した、「NEGLAZE（ネグレーズ）」を始め、主要製品であるベローズ(金属伸縮継手)や真空ゲートバルブ、真空機器を展示致します。当日は当社社員が常駐しておりますのでご質問やご不明点など話をご説明させていただきます。



2025 年出展の様子

*1「ベローズ（Bellows)」とは、日本語に訳すと「蛇腹」と言う意味を持ちます。工業製品でいう 「蛇腹」とは紙・布・プラスチック・金属などの膜ないしは板状の部材で作られる、山折りと谷折りの繰り返し構造の製品です。真空を扱う分野では、一般に金属で製作した筒状のものにひだを設け、伸縮性・気密性・バネ性を持たせたものを「ベローズ」と呼んでいます。つまり、「ベローズ」＝「伸縮管」です

■出展の経緯

当社は真空展への出展を通じて、半導体製造装置、宇宙、高速鉄道などの先端分野で採用されている当社製品と技術力をご紹介致します。

当社の製品の多くは装置や機械の内部で使用されている部品が多く、普段目にする機会はほとんどありません。本展示では、そうした「見たことのないモノ」を実際に展示し、ご来場のお客様とのコミュニケーションを通じた情報交換を行っていき、市場ニーズを踏まえた研究開発や製品改良に反映してまいります。合わせて、新たなお客様との接点を創出し、当社の認知度向上、さらなる事業拡大と市場開拓につなげていく考えです。

■主な展示品

無酸素 Pd/Ti 蒸着非蒸発型ゲッター(NEG)ポンプ「NEGLAZE®（ネグレーズ®)」*2（現品展示）



2022 年度（一社）日本真空工業会表彰『イノベーション賞』を受賞した製品、ドライポンプ、ターボ分子ポンプなどと 組み合わせることで 10-8Pa 台以下*3の超高真空を実現できる気体溜め込み式の 真空ポンプです。2025 年 11 月に正式販売を開始しております。

2025 年 10 月には国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科の吉川一朗教授らと「宇宙観測機輸送に革新をもたらす NEG ポンプ技術の開発」として共同発表をさせていただいており、当製品により惑星科学深宇宙探査が進歩することが期待されています。

NEGLAZE はお客様の用途に応じて、比較的容易に超高真空環境を作り出すことができます。例えば、超高真空環境を必要とする容器・機器・装置（分析装置や試料保管容器など）に応用可能です 。

今回、販売を開始した ICF203 サイズのゼロレングス型を展示します。

*2:NEGLAZE 及びネグレーズは当社の登録商標です。

*3:参考値であり、お客様の使用状況によって異なりますのでご注意下さい。

※本製品は、大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構が有する、

特許 第 6916537「非蒸発型ゲッタコーティング部品、容器、製法、装置」の許諾を受けています。

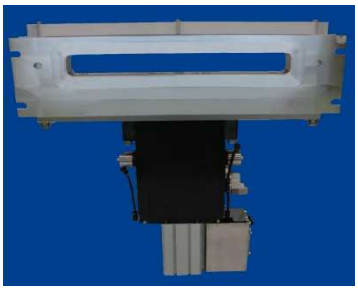
溶接ベローズ（現品展示）



半導体・液晶・真空機器をはじめとし、加速器・核融合・鉄道・医療等の幅広い分野で、気体・流体の気密封止のシール用部材として使用されている溶接ベローズの自動昇降機構をご紹介します。

「伸縮性」と「気密性」を併せ持ち、半導体関連等の装置に使用される固定配管同士の接続・昇降用のシール・容器とポンプの接続に使用されている製品等を展示しております。

シール方向切り替えゲートバルブ（特許第 6607428 号）（現品展示）



2020 年度（一社）日本真空工業会表彰『真空コンポーネント・部品・材料部門賞』を受賞致しました。
弁板の両方に O リングを設け、状況に応じ前後方向にシールを切り替える機構を採用しました。これにより通常時にはプロセスチャンバー側をシールし、O リング交換時はトランスチャンバー側をシールするという、目的によってシールする方向を切り替えて使用することができます。

当社の活躍の場は海外市場にまで拡がり、真空技術の新たな価値を生み出す研究開発に取組んでおります。当社の「強み」である「今ある技術を軸として発展を継承する」「個性ある技術＝お客様の想像を超える技術の開発」を目指し、人財を育成し、技術の発展のための開発を続けていきます。

■開催概要
名　称：VACUUM2026 真空展
テーマ：「真空がひらく、未来への扉」
会　期：2026 年 11 月 18 日（水）～20 日（金）
会　場：東京ビッグサイト　東ホール 1～3 ホール
　　※当社ブースは東ホール 2 No.V-08 になります。
主　催：一般社団法人日本真空工業会、公益社団法人日本表面真空学会、日刊工業新聞社
主催者 HP: https://biz.nikkan.co.jp/eve/vacuum/
「VACUUM2026 真空展」は今年で 48 回目を迎える真空機器・真空装置の総合展示会になっております。技術開発・製品製造・販売など真空技術に関わる企業、研究者の方々が毎年多数来場し、ビジネスに直結する数多くの商談が行われております。真空技術は、半導体、FPD、エネルギー、医療、分析、自動車、食品、新材料などの広範囲な産業を支える基盤技術であると同時に、宇宙開発や素粒子物理学などの基礎科学研究にも重要な役割を担っております。近年は地球環境保全や自動運転技術などが重要視されており、真空技術が貢献できる技術分野はますます拡大しています。次世代における新たな真空技術のあり方を考える機会として本展を開催いたします。

以上

入江工研株式会社　会社概要
代 表 者 ：代表取締役社長　入江則裕
設　　立 ：昭和 41 年 5 月 24 日
資 本 金 ：1 億円
住　　所 ：〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 414
Ｔ Ｅ Ｌ ：03-3507-9611（代表）
Ｆ Ａ Ｘ ：03-3507-9615（代表）
Ｕ Ｒ Ｌ ：https://www.ikc.co.jp/
従 業 員 ：193 名（2026 年 3 月 31 日現在）

社長ラジオ「入江則裕 FM」を配信開始しました（毎週木曜日に配信）
入江則裕 FM-真空からフルート、お花まで多趣味な社長の日常を覗き見 社長の趣味は仕事の補助線
https://creators.spotify.com/pod/profile/n9sp6bivtu/

入江工研 60 年史
https://www.ikc.co.jp/download/profile.html

＜本件に関するお問い合わせ先＞
入江工研株式会社　経営企画室　広報係　担当　村山
TEL:03-3507-9617/ Fax: 03-3507-9615
Mail: koho@ikc.co.jp